

バリ通信



2105号

バリ通信は
過去に

(有)FORZA
愛媛日産自動車㈱ 勤務時代
公益社団法人 今治青年会議所
今治商工会議所青年部

を通じて面識のある
大切な方にお送り
しております。

プロジェクトX ～通販被害者を止めるのだ。ある男の記録～

本企画は中島みゆきさんの地上の星を聞きながら、尚且つ田口トモロヲ氏の声をイメージしながら読んで頂くと効果が倍増します。

さてタイトルの『ある男』というのは『車のお探し専門店グループ』の代表者・長野県のO氏の事である。彼は通販マニアである。それも筋金入りの通販マニアであるが故に常識では考えられないような恥ずかしい失敗を数々してきたのであった。その数々の失敗から生み出された通販で失敗しない為の方法、わかりやすく言うと詐欺サイトの見分け方を、過去の血と涙と無駄遣いで家庭内がゴタゴタした苦悩の歴史から学んだ事をまとめてみたのであった。

ポーン♪(ピアノの音)

事例1、ただの懐中電灯の5本セットを2万円近い値段で買った

ああ、思い出すのもつらい出来事であった。ただの懐中電灯である。それを5本セットで2万円近い価格で買わされたケース。手口はこうである。フランスだかドイツだかの軍隊が使用している懐中電灯でめちゃくちゃ明るい。直接、目に当てると失明の恐れがあるくらい明るい。防犯用としても使えるが、間もなく日本への輸出は止まるので買えなくなるということだ。『これは急がねば!』ということとで都会で一人暮らしする娘に買ってあげようと購入。届いたらホームセンターで売っているような普通の懐中電灯だった。。。

対策 届いてから商品名で検索したら詐欺だといっぱい出ていた。とりあえずは必ず商品名で検索してから判断すること

事例2 ネジを締めることの出来ないドライバー、

ああ、恥ずかしい、恥ずかしすぎる。電動のドライバーセットである。いや電動のドライバーは持っていたのであるが、このドライバーはピストル型なので、まるで弾倉みたいな所に大きさを違うプラス、マイナスや六角レンチが入っていて上部を持ってカチャッとやるとドライバーや六角の種類が変わるのである。見た瞬間カッコいい!と思い、つい買ってしまったのだ。届いて早速カチャカチャやってみたのだが、冷静に考えたら隠れてドライバーを一人でカチャカチャやっているオヤジは悲しい。悲しすぎる。しかも手でも回るようなネジはこのドライバーで回すことが出来るが、ガチッと止めようとするとモーターが弱く止まってしまっているのである。結局は普通のドライバーで最後は締めなければならぬのである。うう、悲しい。

対策 既に持っているものと同種の商品は絶対に手を出さない。

事例3 詐欺被害を未然に防いだ素晴らしい事例、ブランド時計編

これは好判断であった。何気なくネットを見ていたらブランド時計の広告が出ていたのであった。彼は中古なら1個くらいブランド時計を持っていてもいいじゃないかと思いい、広告をクリック。楽天の画面に行ったのである。まあ普通は楽天なら信用してしまうのである。

しかも巧妙なのがその時計、中古相場が40万円前後なのだが、値段は28万円を出ているのであった。これが2〜3万円なら疑うが、相場より結構安い掘り出し物。転売しても損はない値段。

よし、清水の舞台から飛び降りたつもりで買ってみるか！と思いい、申し込みボタンを押したら光の速さで自動返信メールが届き、〇〇銀行××支店の□□の番号に振り込んだら直ぐに宅急便で商品を送ると書いてある。しかし！□座名義を見たら外国人の名前、これは？？？と思いい、もう一度よくサイトを見たら楽天をパクっているが楽天ではない模倣サイト。当然振り込むことはなく被害には合わなかった。

対策 専門的な知識があれば見抜く方法は結構あるのだが、最も簡単なのは詐欺サイトに掲載されている住所をグーグルマップで検索してみると途中までは本当に存在しているが存在しない番地や建物が使われている例が多いです。あと決定的な見分け方は、ホームページのドメインが全然違うケースはパッと見で分かりやすい。(rakuten.co.jp とか facebook.com など) の後ろの記号です。正規のドメインに見えてもリンク張って巧妙に誤魔化している場合もあるので、とにかく注意が必要です。) 他にも支払い方法が代金引換のみとか、特に最近はサイト上の支払い方法の欄でクレジットカードOKと書いてありながら、問い合わせをする、たまたま今トラブルでカードが使えないとか返答が来て、振り込みのみというような事を言うケースはまず詐欺サイトです。その他、日本語の文脈がおかしいケース、詐欺サイトとまでは断定できませんが、避けた方が無難です。

現在コロナ渦でネットショッピングを利用するケースも増えていると思います。大手サイトであればそれほど被害にあう可能性も低いですが、大手と違って利用したら模倣サイトだったという

ケース、結構あります。

大手サイトは、必ずブックマークやお気に入りからトップ画面に入っていけば、模倣サイトに行く可能性はまず無いと思うので、トップ画面をブックマークやお気に入り登録しておいて、そこから入る、これ重要です。まあ殆どの方がされているとは思いますが、ふと見た商品広告をクリックしたら模倣サイトだったという事もありますのでご注意ください。(セキリュティアプリを入れておけば未然に防ぐことが出来るかと思いいます)

間違っても詐欺メールで送られてくる『カードの期限切れ』とか『アカウントが無効になった』とかのメールに書かれてあるインチキURLをクリックしてアカウント情報やクレジットカード情報を入力してはいけません。(アマゾンや楽天、クレジットカード会社の名前を騙ってメールが届きます)

(番外編)

これまで書いたケースとは別の話で、現在みたいにインターネットなんかが無い時代、10代の時(30年以上前...)に読んだ雑誌(エロ本ではありませんよ)に書かれてあった読者投稿ネタですが、『隣の部屋が丸見え！？秘密道具』みたいなタイトルの怪しい通販商品を注文したら『きり(別名・千枚通し。穴をあける大きな針みたいな道具)』が送られてきたという話は、『詐欺やけど面白過ぎる』と、いまだに覚えています。念のために書きますが、私の体験談ではなく雑誌で読んだ話ですよ(笑)

あと以前も書いた気がしますが、私、恥ずかしながら少年ジャンプに広告掲載されていた筋トレグッズ『ブルワーカー』は買った事あります。一日数秒のトレーニングでムキムキになるとかい胡散臭いのを、中学生のなけなしのお年玉を使って(苦笑)

40〜50代の男性は聞き覚えあるのでは？(笑)